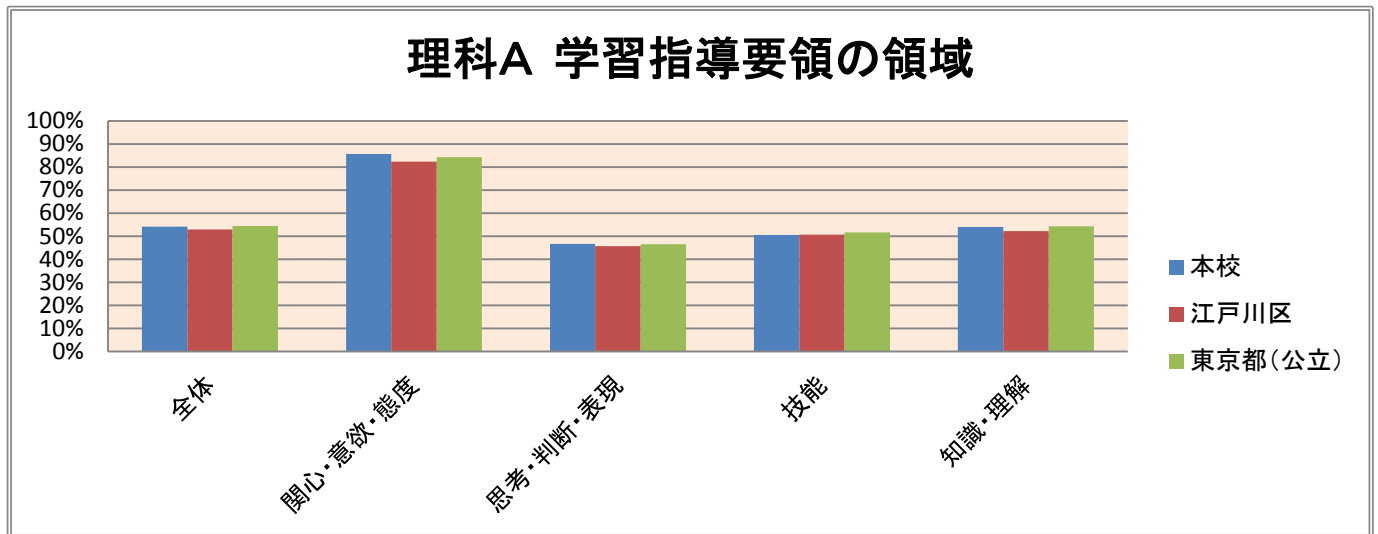


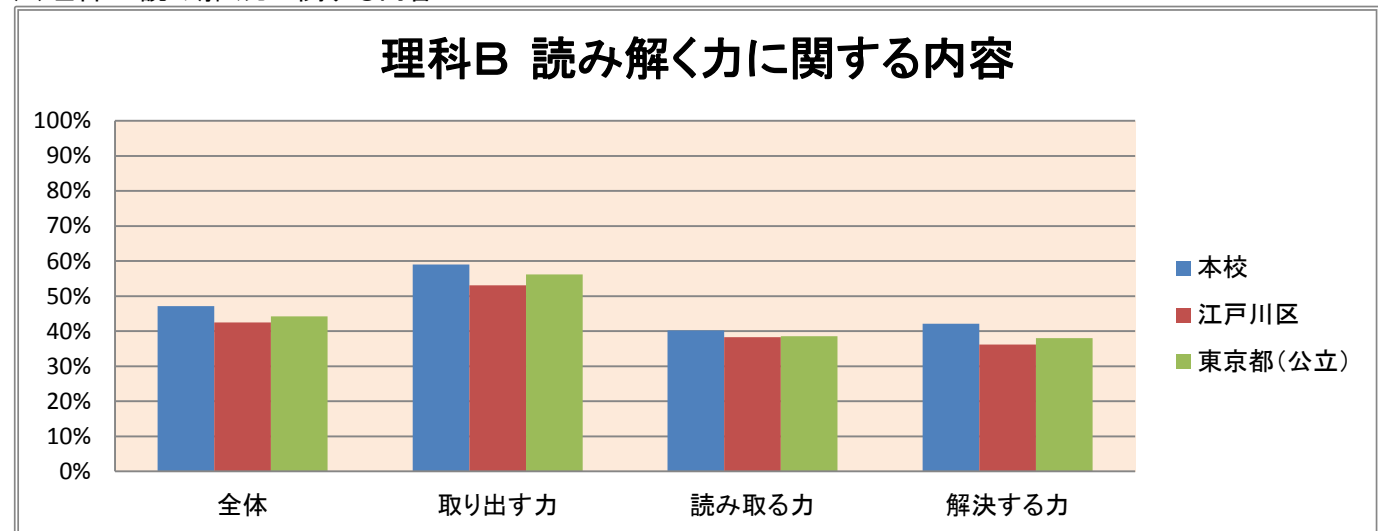
1. 分類ごとの平均正答率

(1)理科A:教科の内容



・「意欲・関心・態度」「思考・判断・表現」が東京都の平均より上回っている。「知識・理解」も標準並み。生徒の「やる気」を大切に、実験や実習に積極的に取り組ませ「知識・理解」のさらなる定着を図る。

(2)理科B:読み解く力に関する内容



・すべての項目が、東京都平均正答率を上回っている。
今後も科学的思考能力を伸ばすために、実験・実習の作業・考察を十分に行わせ、発表により言語活動の充実を図る。

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

- 4 酸素・水素・二酸化炭素・アンモニアを発生させる実験の方法を理解すること。 正答率:12.0%
- 5 酸素やアンモニアについて、空気より重いか軽いかわ、水に溶けやすいかどうかを理解すること。正答率:36.1%
- 6 ヨウ素溶液・石灰水・BTB溶液などが、何を確かめるときに使うものであるかを理解すること。 正答率:23.3%
- 7 水を温めたり冷やしたりしたときの体積の変化について理解すること。 正答率:29.3%
- 13 火成岩の粒のでき方や、火成岩に含まれる鉱物の種類と鉱物の割合を理解すること。 正答率:43.6%
- 16 地層がどのようにしてできるのかを理解すること。 正答率:36.1%
- 17 直列つなぎと並列つなぎの違いを理解すること。 正答率43.6%
- 21 空気中から水中へ光が入るときの屈折の仕方を理解すること。 正答率:31.6%

- 24 物体を水中に入れたときの浮力の大きさは、物体の体積の大きさとどのような関係があるかを考えること。 正答率: 35. 3%
- 25 物体の質量と体積が分かっているとき、物体を水中に入れるときのばねののびを求めること 正答率: 42. 1%
- 27 植物を観察するときには、根・茎・葉・花など、体のつくりに注目して観察すること。 正答率: 45. 1%
- 28 植物を分類するときには、共通している特徴が何かに注意して行うこと。 正答率: 42. 1%